

隠れ水俣病

<1>

長い間忘れられていた水俣病罹患者の存在が、ようやくクローズアップされてきた。水俣病と同じ症状がありながら認定されない人、水俣病といわれることを恥じ、ひたすら隠しつづける人などが、いまなお相当数いるという。夢のように美しい不知火海の浦々にひっそりと隠れ住む、かくれ水俣病の存在。公費の原資といわれる水俣で、なぜこんなことが許されるのか。この二重の差別を告発する。

ある発掘者

棄民政策の典型

「水俣病というのは、本当に棄民政策だと思いますな。なかでも未認定患者の問題は典型です」と憤るのは、水俣市月の浦の川本輝夫さんだ。川本さんは病院の看護士のかたわら、水俣病未認定患者の問題と取り組んでいる人。自らも軽い水俣病的症状を訴える。調査請求二回、いずれも却下。現在厚生省

川本さんが、潜在的な水俣病患者の発掘を始めたのは、四十四年の公費被害者認定審査会で、他の十一人とともに認定を却下されてからである。いわゆる「未認定患者」となった川本さんは、水俣病でなければ自分の病名は、いったい何だ、という疑問に悩む。同じような悩みを持った人がたくさんいるに違いないと、部落を回り始めた。

ないし、初めは警戒されてなかなか心を打ち割ってくれない。部落へ行ったときはつらかつ

とくに出水市の名瀬という漁業

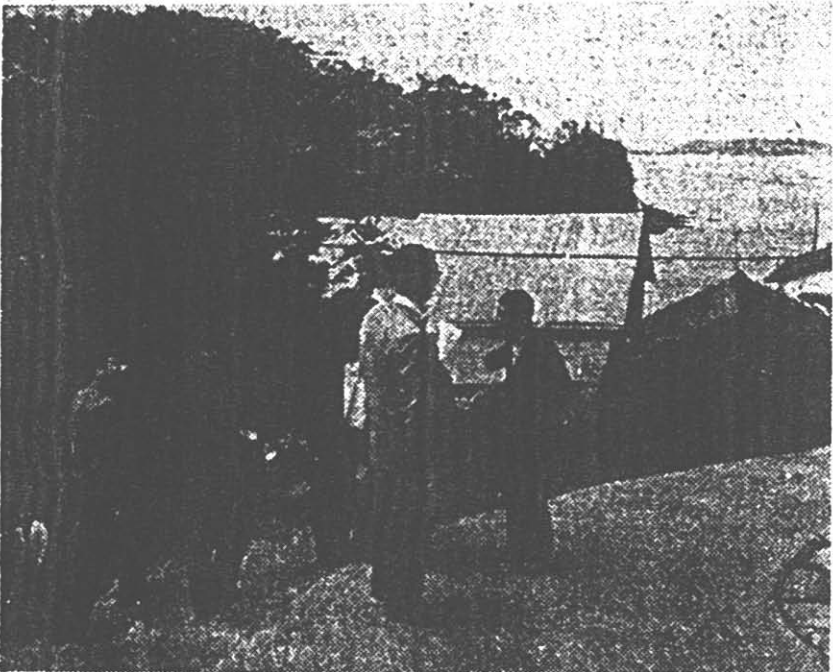
た。ここは発症当時隠したとて、認定患者の家をたずねても、たれも教えてくれない。やっと見つけ出したが、物を写してもらえない。自転車はこわれるし、泣くに泣けなかつたに

夜、患者宅を回る

所む手足をいたわりながら、川本さんは発症地帯をくまなく歩いた。昼間は仕事があるの

で、歩くのはほとんど夜。それも三回、四回と訪問してやっと心の中を打ち明けてくれた。

川本さんがこの潜在患者発掘のなかで、一番力を入れたのは障児性患者の母



「告発する会」の川本さん(右端)たちを案内する人

を相手取って行政不服審査を請

と行政訴訟を行って、たれも知り

親たちの問題。二十三人の同意者のうち、母親も患者に認定されているのはわずか一人。胎内で水銀汚染されている以上、そ

んな子供の将来のことと、自身自身の健康への不安で、安らぎのない毎日を送っていることがわかった。症状を聞くと、物忘れ、手足のしびれ、目がかすむ、茶わんをよく閉めるなど、水俣府的な症状をみながら、病名もわからぬまま何軒もの医者を転々としていた。

これでは、審査会に申請しようと思つた大多数の母親たちはしりこみした。「いまごろになって」「水俣病といわれたら恥すかし」「補償金目当てと思われはしないでしょうか」というのである。

川本さん自身症状が一審ひどかつた三十四年当時、就職にさわると、申請を取りやめた経験があるだけに、母親たちの気持ちを痛くわかつた。

を光りに患者に潜在

申請認定で努力な地道

に原点を差別と偏見

で、やがて八人の母親が申請書を預けてくれた。一枚の申請書を書いてもらうのに、最低三回、多い人は五回も足を運んだ。こんなに苦勞して集めた申請書だが、提出前に、半数が取り下げてしまった。「申請した四人は、こんど全部認定されたのに」と川本さんは残念がらる。

川本さんの地道な努力で、水俣病と認定された人は、これまで十数人にのぼる。認定患者百三十四人のさつと一割だ。「私が助け神じゃなかつたけど、あなたに会えてよかつたと言ってくれる人が何人もいる。申請の方法もわからず耐えに耐えてつとめたよ」

偏見、差別と汚名

発生ிரایی、絶えずタブー視され続けてきた水俣病。川本さんに言わせると、このタブー視にも三つの時期があるという。一度目は奇病、伝染病といわれた発生当時、二度目は三十四年、戦いをム女にしてはならない。

の見舞い金契約の成立で、もう水俣病は終わった、寝た子を起すなどいわれた時期。そして三度目が、厚生省の補償あつせんをめぐって、一任派と訴訟派に分裂した時期、つまり現在だという。

こうしたいくつかの偏見、差別、自己規制のなかで、水俣病問題は隠微な形でマスクされ続けてきた。川本さんも「水俣病にそんなものがまつわりついているのは悲しいことだ。公害病に認定されながら、いまま水俣では水俣病は汚名なんです」と言い切る。

だが、川本さんらの気長な努力で、これら潜在患者の問題にも、ようやく光りが当たり始めた。いまま公害認定審査会には二十四人が新しく認定を求めている。

自らに加えられた差別や偏見を原典に、それを逆にエネルギーにしてきた川本さんの猪拙の

×モ

◇水俣病患者

現在までに認定された患者は百三十四人(うち死没者四十八人)で死に者は三五・七割。発生地は水俣市を中心に、北は阿部田浦町から南は鹿児島県出水市までおよびる。ち

の母体も当然なんらかの影響を受けているはずだ、と考えたのである。だが川本さんの熱心な探

たが川本さんの熱心な探